

記入日： 年 月 日

動物病院記入欄

先にの製品からお試してください。

消化器サポート 低脂肪 小型犬用

満腹感サポート + CLT 小型犬用

その他

( )

次回のご来院予定

年 月 日 週間後 ヶ月後

健康診断で  
「食事を見直してみよう」と  
いわれたワンちゃんへ



肝臓は「沈黙の臓器」と  
いわれ、かなり  
病状が進行しないと  
症状が認められません。  
症状の有無に関わらず改善に  
努めてください。

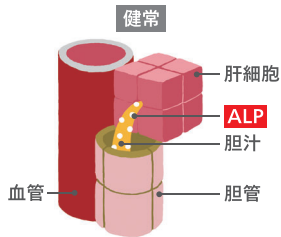
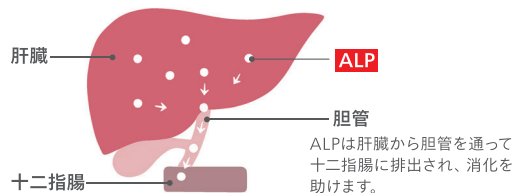


# 「ALP」ってなんでしょう？

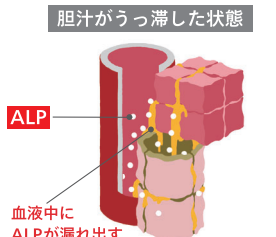
ALP※は体内に存在する酵素で、  
主に肝臓に問題があると血液検査で数値が高くなります。

ALPは肝臓に多く存在し、通常は胆汁と一緒に胆管を通過して十二指腸に排出されています。しかし、肝臓や胆管に問題があると血液中に漏れ出てくるので血液検査で高値になります。このため、肝臓の状態をみるバロメーターとして使われます。

※ALP = アルカリフォスファターゼ



通常、ALPは胆汁と一緒に胆管を流れています。



肝臓や胆管に問題があるとALPが血管に漏れ出てくるため血液検査で高値になります。

# 「ALP」が高くなる原因

内臓に起因する場合が最も多いですが、そのほか骨や薬剤に起因する場合があります。

## 内臓に起因する場合

- **肝臓の疾患**  
空胞性肝障害、肝細胞癌、リンパ腫、結節性過形成 など
- **胆嚢の疾患**  
胆嚢粘液嚢腫、胆石、胆泥症 など
- **内分泌疾患**  
クッシング など

## 骨に起因する場合

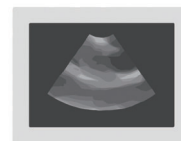
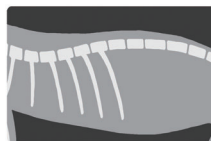
- **骨折**
- **成長期** など

## 薬剤に起因する場合

- **ステロイド**
- **痙攣の薬** など

## 追加の検査

最適な治療を行うために正確な診断が不可欠です。血液検査だけでなくレントゲン検査や超音波検査など複数の検査を行い総合的に診断します。



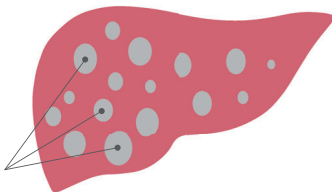
## ワンちゃんに多い肝疾患

ワンちゃんに多い肝疾患に「空胞性肝障害」があります。肝臓は食事として摂取した炭水化物や脂肪をエネルギー源として貯蔵しますが、空胞性肝障害は炭水化物や脂肪が過剰に貯蔵され肝細胞を圧迫している状態をいいます。顕微鏡で見ると肝臓に穴が開いて空胞状に見えるため、この名で呼ばれています。

空胞性肝障害の詳しい原因はわかっていませんが、**ストレスや食生活が関係しているという報告もあります。**

### 空胞性肝障害の時の肝臓

肝臓に過剰に貯蔵された炭水化物や脂肪によって肝細胞が圧迫された状態



肝臓に貯蔵された炭水化物や脂肪

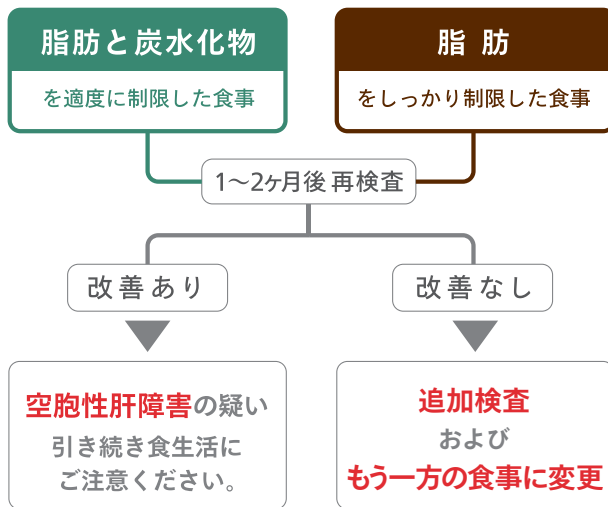
### ストレスと栄養素

加水分解ミルクタンパクやL-トリプトファンは不安やストレスを軽減する効果があります。空胞性肝障害の原因のひとつにストレスが関係しているといわれていますので、生活環境や生活習慣の見直しに加え、食事によるストレス軽減もお試ください。

## 「ALP」が高い原因は食生活かもしれません

空胞性肝障害は多くは無症状ですが、一部の犬種では肝細胞癌の報告があります。また人では肝臓に負担がかかると疲れやすくなるといわれているので、そのまま放置せず改善に努めましょう。空胞性肝障害であれば食生活を見直すことで改善が期待できます。動物病院の指示にしたがって治療の一貫として取り組んでください。

### 食生活を見直してみよう!



食事管理は必ず動物病院の指示にしたがって行ってください。